あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

○○27

第2章・ゆとり教育世代の子育て

進路

中退の7割 ミスマッチ

多くの高校に体験入学を

先月、高1男子から「今月で退学します。通信制高校の仕組みを教えてください」という電話が入り、三者面談を設けました。

服装もこざっぱりして柔和な顔つきの少年は、退学理由は「窃盗と暴力です」と平然と話しました。「何を取った?」と聞くと「百円と弁当」と。「百円は借りたんだけど取ったと言われ、弁当は全部じゃなくて、唐揚げ取って戻しておいた」「暴力も運動部同士でヘッドロックしたら〝首をしめた〟ことになった」と。

ぬれぎぬを着せられたり、いたずらや遊びの延長が処罰の対象になったりで高校中退とはあまりにも理不尽だと思わないのかと尋ねたら、「いや、もういいんです。ちょっかい出したのは僕だし」と。隣に座っていたお母さまも「学校に呼ばれ、全員が書いたアンケートを見せられたら…。働きながら通信でと、この子が自分で決めたことですから」とおっしゃいました。

子育ての中で「子どものやりたいことをやらせたい」とおっしゃるご家庭は確かに多くなってきましたが、果たして子どもは「将来の夢」に向かった進路選択を自分だけの力で正しく行うことができるのでしょうか。

私は違和感を覚えながらも気持ちを切り替え「将来は何になりたいの?」と聞きました。少年は「特に…」と。「働きながら勉強するのは立派な覚悟だが、給料はいくらぐらい稼ぐつもり?」と続けてみました。すると「月に60万…いや最低30万」とニコッと笑って答えました。

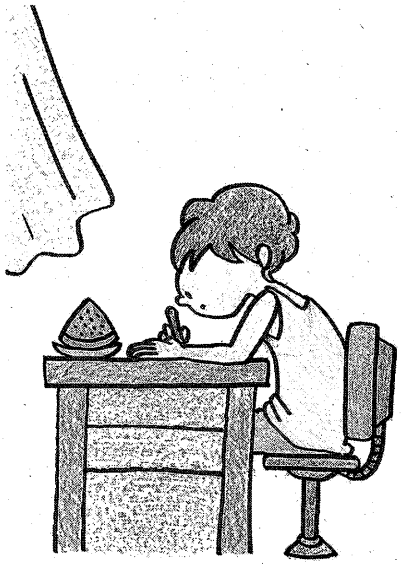
この数年、不登校問題にかかわってきて、中退する理由も、働いて高卒の資格をとるというイメージも、われわれ親の時代とは大きく異なってきていると感じます。青森県でも毎年数百人の高校生が中退していますが、その理由の7割以上が進路のミスマッチです。

夏休みに入り、今年も各高校では受験生の進路選択のために体験入学を実施しています。しかし、現時点で考えている受験校しか体験入学を申し込んでいない中3生が少なくありません。

塾では「冬になり入試が近づいて、その高校が無理でもこちらの高校なら入れるとなったときのために、この夏休みに体験入学で見ておいた方が良いのでは?」と、日程的に可能な限り、できるだけ多くの高校を体験しておくようにアドバイスをしています。

私は、夏期講習会の初日に「乗り越えられぬ目標に向かい、乗り越えようと努力する毎日を大切に! あなたの乗り越えられぬ目標は何ですか?」と話し、ゆとり教育世代の子どもたちの芽吹きを待つことにしています。

（畑山篤＝志学塾塾長）



by yoriko

給食廃油でせっけん作り
環境教育、全国に広がる

子どもに環境リサイクルの意識ってもらうにはじてもらうことだ。そんな考え普段食べる給食る廃油を使ってん作りを体験す授業が行われて

先日、東京都立矢口東小の理4年生ら約50人った。用意され給食調理で出た使用済み牛乳パ各自持参した空トボトル2本。始まるのだろう様に興味津々だ

「合成洗剤を泡が消えないせっけんだとす

ニュース なぜなに

教育

自分の部屋からほとんど出なかったり、部屋から出ても家からは出なかったり、近所のコンビニなどにしか出かけないという状態が半年以上、続いている人は、回答者の0・6%に上りました。この年代の人口からするっかけは、病気や、職場になじめなかったこと、就職活動がうまくいかなかったこと、小中高校で不登校になったことを挙げた人が目立ちました。

小中学生のころの経験を質問すると、引きこもりの人はそうでない人に

た政府の「子ども・若者